

6224933

情報部

第一課

機密第三七號

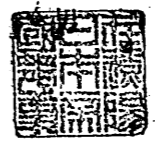
昭和四年貳月廿七日接受

別紙添付

昭和四年二月十六日

在 遼 陽

領事館事務代理 吉井 秀



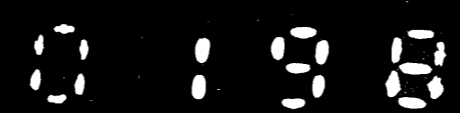
外務大臣男爵 田 中 義 一 殿

新聞及通信ニ關スル調査報告書提出ノ件

當館管内ニ於ケル昭和三年度末現在新聞及通信ニ關スル調査報告書

二通茲ニ提出ス御査閱相成度シ

0342



新聞及通信其他ニ関スル調査

一、概説 當管内ニ有力ナル新報ニテ唯遼陽、鞍山、西地、地方
 新報ニテ普通新報ニテ、半頁大ニ相當スル邦文通信紙毎日
 新報(四頁)及全半頁大、漢文社會日刊(四頁)アルニ一
 般輿論界ニ於テ何等權威ナク、何レモ單ニ當地方ニ於
 テ社會的報導機關ヲ兼ホスル廣告紙新報トモ稱ス
 可キ程多ク、尚該新報ニ關係スル團體トモ、ハタカシ

二、新報通信

<p>一、新報 遼陽各報 二、遼陽各報 三、遼陽各報 四、遼陽各報 五、遼陽各報 六、遼陽各報 七、遼陽各報 八、遼陽各報 九、遼陽各報 十、遼陽各報</p>	<p>一、主義系統 二、政治傾向 三、地方事情 四、報章之地位 五、編輯方針 六、政治傾向 七、地方事情 八、報章之地位 九、編輯方針</p>	<p>一、社長 二、編輯長 三、記者 四、編輯 五、印刷 六、發行 七、印刷 八、發行 九、印刷 十、發行</p>	<p>一、備考 二、備考 三、備考 四、備考 五、備考 六、備考 七、備考 八、備考 九、備考 十、備考</p>
---	---	---	--

0343

邦文 只、地方通信及 雑誌、新聞	三、政府政治以外、 地方通信関係者 若くは勢力者 ヲ有ス 四、日本ニ対スル態度 ガマシテ 五、地方自治関係 日本	八、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ	在籍日才新聞社理事會 能子、松平、赤松、 左藤、及安藤、長二 ヲ以テ教育系ヲ經 テ大正五年海軍各 日才社ニ在リ
一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ
一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ
一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、主として 民智啓蒙 ニ政府政治下關係 セシ 二、地方自治 ニ關係 三、使用文字、西別 漢文	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ	一、海防日本人志士、 海軍新聞社関係者等 ヲ經テ海軍軍艦隊等 報ニテ海軍事情ヲ 改訂シテ發行、許可ヲ 受ケ又大阪朝日、東京西 信ヲ拒絶ス尚今人通 報印刷者社、重役ニ シテ想方不実系家ノ列 ニ在リ

民五
 經營困難ナレモ
 如シ

三通信員 当地ニ特派セラレタル者ナリ 当地ニ在位有力副業
 的ニ通信ヲ兼メ各自其本社ニ当地ニ出ル事ヲ通信シフ

氏名	社名	備考
後渡源光	滿洲日报社	福島縣人 明治十九年生 元國史ノ學ヲトシテ遼陽ニ居テ要ニ勤務スル 事アリ 辭職後遼陽ニ歸シ此報ヲ創刊シ其後 取締役トシテ其業ヲ力大ニ進メ今日ノ日 計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
加藤政人	前々	福島縣人 明治十七年生 早稲田中學卒業後九洲鐵道ニ入社明治甲午滿 鐵ニ入り大正八年退職後其業ヲ進メ其後 七年半其業ヲ仲介人トシテ遼陽ニ歸リ通信員ニ 任ズ 昭和二年七月滿洲日報ニ入社今日ニ至ル 現在其業ヲ進メ其業ヲ力大ニ進メ今日ノ日 計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
心野長作	前々	福島縣人 明治十六年生 早稲田中學卒業後遼陽ニ居テ其業ヲ進メ 二年四月遼陽ニ在位其業ヲ進メ今日ノ日 計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
杉木心一	大連社	京都府人 明治三年生 御堂ニ於テ其業ヲ進メ今日ノ日計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
井下篤次郎	前々	香川縣人 明治十七年生 早稲田大學日文科卒業後遼陽ニ居テ其業ヲ進メ 其業ヲ進メ今日ノ日計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
野村如一	前々	廣島縣人 明治十九年生 大正三年五月遼陽ニ在位其業ヲ進メ今日ノ日 計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
木村田徳重	奉天毎日社	東京府人 明治十六年生 大正三年七月中央大學日文科卒業後奉天ニ在位 其業ヲ進メ今日ノ日計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
渡邊直八	前々	鹿島縣人 明治十七年生 御堂ニ於テ其業ヲ進メ今日ノ日計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル
佐々野忠八	奉天日日社	長崎縣人 明治四年生 長崎縣立高等學校卒業後奉天ニ在位其業ヲ進メ 今日ノ日計ヲ(現滿洲日報) 遼陽ニ居テ其業ヲ 進メテ居ル

在遼陽日本帝國領事館

0344

末宗安吉	奉天日日新社	大分縣人 明治三十四年生 明治三十四年三月廿八日奉天日日 新社に於て支局主任となり、其後、 支局長に任じられたり、其の 支局主任に任じられたり、其の
青山良雄	奉天新支社	兵庫縣人 明治九年生 明治九年四月に奉天新支社に於て 支局長に任じられたり、其の後、 支局長に任じられたり、其の
権藤喜吉	奉天毎日新支社	鹿児島縣人 明治三十六年生 明治三十六年四月に奉天毎日新支 社に於て支局長に任じられたり、 其の後、支局長に任じられたり、 其の
渡邊徳彦	大坂朝日新支社 東方通信社	新潟縣人 明治三十七年四月に大坂朝日新支 社に於て支局長に任じられたり、 其の後、支局長に任じられたり、 其の
谷孫林市	遼東タイムス社	岡山縣人 明治 三十八年生 明治三十八年四月に遼東タイムス 社に於て支局長に任じられたり、 其の後、支局長に任じられたり、 其の
劉先譜	奉天日报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日报社に於て支局長に任じ られたり、其の後、支局長に任じ られたり、其の
佟明浩	奉天市民报社	陽明縣人 明治三十九年生 奉天市民报社に於て支局長に任じ られたり、其の後、支局長に任じ られたり、其の
趙文楷	奉天省公报社	奉天省人 前清官吏 奉天省公报社に於て支局長に任じ られたり、其の後、支局長に任じ られたり、其の
張貴年	盛京時報社	奉天省人 明治三十九年生 盛京時報社に於て支局長に任じら れたり、其の後、支局長に任じら れたり、其の
楊松年	新亞日报社	遼陽縣人 尚二八年生 新亞日报社に於て支局長に任じら れたり、其の後、支局長に任じら れたり、其の
董鳳九	醒時报社	遼陽縣人 尚四十九年生 醒時报社に於て支局長に任じら れたり、其の後、支局長に任じら れたり、其の

0345

苗義臣	東北日报社	遼陽縣人 尚五十二年 和塾卒業 遼陽地方法院書記官として 民國十二年九月東北日报社主任兼副社長 遼陽縣人 尚五十六年 前清秀才 民國十四年奉天省教育會委員 尚五十八年 遼陽地方法院書記官 東報、遼陽報等、遼陽支局主任兼副社長 相當者及人並了
丁桂清	遼陽報社	

王義勇日本帝國領事官

Q346

七五
二二
七三
七四
七五
七六
七七
七八
七九
八〇
八一
八二
八三
八四
八五
八六
八七
八八
八九
九〇
九一
九二
九三
九四
九五
九六
九七
九八
九九
一〇〇

新聞及通信其他ニ関スル調査
 一、概況 尚舊力ニ有カニ新カナリ唯遼陽、蕪湖、西他、地方
 新カニテ普通週刊カ、半頁大ニ相當スル邦文週刊毎日
 新カ(四頁)及全半頁大、漢文社會日刊(四頁)アルニ一
 般操縦界ニ於テ何等權威カ、何レモ單島地方ニ於
 テ社會的報導機關ヲ兼ホル廣告式新カトモ他カ
 可キ程カナリ尚該新カニ關係スル團體ト云フヘカモナシ
 二、新カ週通信

名称	主義系統	持主又ハ社長	主筆及主筆	備考
一、新カ週通信	一般政治傾向並ニ社會的傾向ヲ	持主又ハ社長ニ其人物極ノ不明	記者	一、創刊年月不明
二、英支新カ	報導ニシテ主眼	渡辺徳重	渡辺徳重	一、創刊年月不明
三、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
四、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
五、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
六、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
七、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
八、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
九、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明
一〇、英支新カ	報導ニシテ主眼	山形新カニシテハ三下	山形新カニシテハ三下	一、創刊年月不明

0347

一、新刊 二、英支名身他五 三、他甲文字、五別 漢文	一、主教之法 二、政黨政治下關係 三、福浦 四、地方の勢力 五、日本三社 六、大洲島五島	一、持主及社長名並其人 二、陳、亦、漢 三、陳、亦、漢 四、陳、亦、漢 五、陳、亦、漢	一、新刊 二、新刊 三、新刊 四、新刊 五、新刊 六、新刊
一、新刊 二、新刊 三、新刊 四、新刊 五、新刊 六、新刊	一、新刊 二、新刊 三、新刊 四、新刊 五、新刊 六、新刊	一、新刊 二、新刊 三、新刊 四、新刊 五、新刊 六、新刊	一、新刊 二、新刊 三、新刊 四、新刊 五、新刊 六、新刊

民西

經營困難ナルモノ
如シ

三通信員 當地ニ特派セラレタル者ナリ 當地ニ在位有力副業
的ニ通信ヲ兼テ各自其本社ニ當地ニ來テ通信シ
ツアリ

氏名	社名	備考
後渡清花	満洲日報社	柳田縣人 明治十九年生 元國布子製糖於トシテ遼陽至長春間ニ勤務シテ 此間アリ辭職後遼陽滿洲製糖株式會社ヲ創 設社長トシテ在任中ニ在リ 針子(現滿洲日報)遼陽支局長トシテ在任中ニ在リ 者ナリ
加藤政人	前々	柳田縣人 明治十七年生 早稲田中學校卒業後九内鐵道ニ入社明治四十年 鐵道ニ入り大正八年退職後在任中ニ在リ 七年東洋製糖會社トシテ在任中ニ在リ 不昭和二年七月滿洲日報支局長トシテ今日ニ在リ 現在柳田縣支局長トシテ在任中ニ在リ
内野長作	前々	柳田縣人 明治十六年生 柳田縣中學校卒業後在任中ニ在リ 二年四月瀋陽會社トシテ在任中ニ在リ 信ヲトナシ
杉木心一	大連村支社	京都府人 明治三年生 柳田縣ニ於テ出立後訓練等ノ役任中ニ在リ 大正三年九月瀋陽支社ニ於テ印刷部長トシテ在任 中ニ在リ 大正十四年大連村支社ニ於テ在任中ニ在リ 田村縣人トシテ在任中ニ在リ
井下篤次郎	前々	香川縣人 明治十七年生 早稲田中學校卒業後在任中ニ在リ 大正六年十月瀋陽支社ニ於テ在任中ニ在リ 大正十四年大連村支社ニ於テ在任中ニ在リ
野村如一	前々	廣島縣人 明治十九年生 大正三年五月瀋陽支社ニ於テ在任中ニ在リ 大正十四年大連村支社ニ於テ在任中ニ在リ
木村四德堂	奉天毎日社	東京府人 明治十六年生 大正三年七月中央大學卒業後在任中ニ在リ 大正三年十月瀋陽支社ニ於テ在任中ニ在リ
渡邊直八	前々	京都府人 明治十七年生 柳田縣ニ於テ出立後訓練等ノ役任中ニ在リ 大正三年九月瀋陽支社ニ於テ在任中ニ在リ 大正十四年大連村支社ニ於テ在任中ニ在リ
佐々野忠八	奉天日日社	長崎縣人 明治四年生 長崎縣立中學校卒業後在任中ニ在リ 大正三年十月瀋陽支社ニ於テ在任中ニ在リ 大正十四年大連村支社ニ於テ在任中ニ在リ

在遼陽日本帝國領事館

末宗安吉	奉天日新报社	大分縣人 明治三十四年生 明治三十九年於奉天日新报社任編輯主任 於三十九年八月奉天日新报社任編輯主任
青山貞雄	奉天日新报社	兵庫縣人 明治九年生 明治三十九年同西法律學校畢業奉天大段稅務管理 局長、兵庫縣書記、奉天日新报社地方支社社長、 於大正十五年八月奉天日新报社任編輯主任トナル 德田三樹村ト
權操喜彦	奉天日新报社	福留島縣人 明治二十六年生 大段南面支店支店長、奉天日新报社大段南面支店支店長 トナル、其後支店支店長トシテ、奉天日新报社大段南面支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
渡邊德彦	大段南面支店支店長 奉天日新报社	岡山縣人 明治九年生 明治三十九年同西法律學校畢業、奉天日新报社大段南面支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
仁藤孫林市	奉天日新报社	岡山縣人 明治九年生 明治三十九年同西法律學校畢業、奉天日新报社大段南面支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
劉先譜	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
佟明浩	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
趙文楷	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
張貴年	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
楊松年	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル
董鳳九	奉天日新报社	遼陽縣人 慶應三年生 前清官吏 奉天日新报社支店支店長トナル、 奉天日新报社支店支店長トナル

在遼陽日本帝國領事館

600.933

手
入
者
氏
名

情報部 第一課

機密第六七號

昭和四年二月十七日

在青島

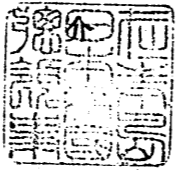
總領事 藤田 榮

外務大臣男爵 田中 義一 殿

新聞雜誌ニ關スル調査送付ノ件

當地方新聞雜誌ニ關スル調査（昭和三年十二月末現在）別紙正副

二通送付ス可然御取計相成度



昭和四年貳月廿貳日接受

別紙添附

0351

在青島日本帝國總領事館

苗義臣	東北日报社	遼陽縣人 苗五正年 和歌山縣系依遼陽地方ニ於テ兩縣ヲ管シテ下ア 民西十六年九月東北日報支局長任爲同借員トナル
丁桂清	遼陽縣人 遼陽縣人 苗五正年 前清秀才 民西十四年奉天省教育委員ニ當選、民西十五年同 東報、遼陽報等、遼陽支局長任爲同借員トナル 和歌山縣及人並了	

0350

名稱	主義系統	持主又ハ社長	主筆	備考
大青島報 漢文	日本籍	小谷節夫	内藤一	民國四年六月創刊日刊 發行部數千五百
新民日報	支那總商會 ノ機關紙	伊振農	姜麗川	民國九年一月創刊日刊 發行部數約六百七十 最初中國青島報ト稱シタル ヲ 嗚年來改名セルモノナリ
膠東新報	日本籍	浦上叔雄	鄭洗元	民國十一年六月創刊日刊 發行部數約二百八十
青島時報	國民黨系	張博文	尹撲齊	民國十三年八月創刊日刊 發行部數約六百
中華商報		馬起棟	李士賢	民國十五年七月創刊日刊 發行部數約二百

在青島日本帝國總領事館

0352

名稱	主義系統	持主又ハ社長	主筆	備考
青島新報 邦文		小谷節夫	難波紋市	大正四年一月創刊日刊 發行部數約六千
山東新報 青島附錄 邦文		支社長 吉岡鹿造	同上	大正十五年十月創刊日刊 發行部數約千五百
膠澳通信 漢文	泰安政府派	陳无我	同上	民國十三年一月創刊日刊 發行部數約三十
青島新聞 通信		張皓陰	同上	民國十四年六月創刊日刊 發行部數約三十
渤海日報		姜子正	同上	民國十七年十一月創刊日刊 發行部數約百五十
新中國	支那警察廳 御用紙	吳炳辰	史鵬苑	民國十七年十一月創刊日刊 發行部數三百

在青島日本帝國總領事館

0353

興信所內報 青島實業	山東興信 所報	青島興信 所報 邦文	鐵路公報	膠澳公報 漢文
			膠濟鐵路 局公報	膠澳商埠 局官報
小川岩男	吉村榮三	水野天英	膠濟鐵路管 理局	膠澳商埠局
同上		同上		
大正十年七月創刊週刊 發行部數約一百 興信所關係事項ノ通報	大正十一年一月創刊日刊 發行部數約二百一般經濟 狀態及個人ノ信用調査	大正八年三月創刊不定期 一般經濟狀態及個人ノ信 用調査	民國十四年二月創刊月三 回 發行部數約三百	民國十二年一月創刊月八 回刊 發行部數約三百

在青島日本帝國總領事館

0354

青島公報	三好眞文	大正十二年三月創刊 月三回刊 發行部數百六十 日支官公署及民團等ノ命 令規則ヲ掲載ス
日本電報通信、聯合通信、濟南山東新報、濟南日報、滿洲日報 及大連新報上海日日ノ支局並ニ上海新聞報、申報、東京新報、 東京大夜朝日新聞、東京大夜時事新報、大夜毎日新聞、 報知及中外商業新報等ノ通信員アリ		

在青島日本帝國總領事館

0355

5.3.18
7m
20

四六七
三三
Ja

600.933

情報部

第一課

公信第 三六號

昭和四年三月廿八日 別紙添附
昭和四年三月廿八日 接受
記

昭和四年二月十八日

在九カ方

總領事村井倉松

外務大臣男爵田中義一殿

新聞調査印刷物修正材料送付件

昭和二年十月印刷「政米諸國及其屬領土耳古埃及暹羅」
に於ける新聞調査修正用トシテ別紙送付申進ス

0356

293

昭和二年十月印刷「欧米諸國及其屬領土官古
 埃及、暹羅に於ける新聞調査」修正材料
 昭和三年十月末現在カルカッタ總領事館関係
 第一五頁、英領印度概説中、第七行以下ヲ左如修正
 印度に於ける大新聞としてはカルカッタのステーション、孟買のタイ
 ス・オプ・インディア、アラハバトのハイオリア、マドラスのユトラス・メール
 の四を挙げて得る。就中ステーションは其発行部数最も多
 く、其體裁内容は之を英國の大新聞に比するに遜色な
 い程である。

在カルカッタ日本帝國總領事館

Steteman	中立と稱するも 實際は政府擁護	The Steteman Held.	Alfred H. Watson	英字日刊(月曜休刊)一八七五年創 立、発行部数二万五千(但日報は 四万以上)仰を最大新聞にして 在印英人其他一般人士は境者 有テ、印度を漸次的に自治領と するニシテ賛成し居るも常に英人
Englishman	保守主義 英國に英人 の利益擁護	Englishman Kd.	J. T. Samy	英字日刊、二十二年創立、英人創 の利益擁護を露骨に現はし仰 か人の反感を咬む程にして所論往 々中庸を名き権威を失ひつあり ス。ソレ以外の漸進的は發行部 数(現在数千)漸減の傾向あり
Forward	(不変)	(不変)	(不変)	英字日刊、九三年十月創立、発 行部数二万五千、(ソレ以外印 度人経営の最大新聞、主として印 度人向け境者有テ、從來印度の 独立達成を唱へ議會に於て政府 に悉く反対する、スウエド、米の 機關紙にして過激の文章を大膽し サイモン委員會レポートを絶叫 す、現在選挙の準備を急ぐに因り 日本に因りて記事多ク対日感情悪 からざるは其も日支問題に因りて 即ち同情を寄する風あり。
New Empire	泰利			

55

◎注意
部表、別表、基
ヤ記入相成及シ

懸案

6.22.9 法并3

公 信 案	外 務 省	件名	「外國に於ける新々」(上下) 送附1件	受 信 人 名	別表各館長宛各道	受 信 人 名	情報部
		名 込 綴		發 信 人 名	情報部	發 信 日 附	昭和四年貳月拾玖日
		相成及シ	貴館及在外各公館報告ヲ基礎トシテ編纂セル旨 ハ刊行物 部送附シタルニ付御查收	第一課長		昭和四年貳月拾玖日	附屬書
				第一課長		昭和四年貳月拾玖日	通

文書課長

文書課發送

公
信
案

附屬別便

(甲號用紙)

昭和四年貳月拾玖日發送済
 (起草昭和四年二月十五日)
 正校(原稿) (蓋)
 淨書 (蓋)
 (蓋) (蓋) (蓋)

19 102

0364

外國に於ける新館
 上巻一六四部
 下巻一七六部
 (一七三) (一七三)
 在外公館一覽表 (總數一四三)
 (昭和參年十月現在) 大使館 一六 公使館 九
 領事館 五五 分館 一三 出張所 九
 總領事館 三〇 代表其他 七

在英大使館	在安土府領事館	在里昂領事館	在米大使館	在巴黎馬領事館	在シドニー總領事館
在佛大使館	在馬耳塞領事館	在墨公使館	在墨公使館	在里馬領事館	在カタマ總領事館
在獨大使館	在馬耳塞領事館	在智利公使館	在智利公使館	在バウル領事館	在孟買領事館
在伊大使館	在馬耳塞領事館	在亞公使館	在亞公使館	在バウル領事館	在ケープタウン領事館
在自大使館	在馬耳塞領事館	在秘露公使館	在秘露公使館	在バウル領事館	在河内總領事館
在埃公使館	在馬耳塞領事館	在紐育總領事館	在紐育總領事館	在マサトラン領事館	在スラバヤ領事館
在蘭公使館	在馬耳塞領事館	在桑港總領事館	在桑港總領事館	在サントス出張所	在關貢領事館
在西公使館	在馬耳塞領事館	在市俄古領事館	在市俄古領事館	在紐育商務書記官	在ダバオ分館
在瑞典公使館	在馬耳塞領事館	在シヤトル領事館	在シヤトル領事館	在アイス商務書記官	在西貢領事館
在土大使館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	在コロポ領事館
在波蘭公使館	在馬耳塞領事館	在カナダ公使館	在カナダ公使館	在アイス商務書記官	在ベルシヤ出張所
在知惠古公使館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	在メダン領事館
在羅馬尼公使館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	
在芬出張所	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	
在希臘公使館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	
在倫敦總領事館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	
在漢堡總領事館	在馬耳塞領事館	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在アイス商務書記官	

在露大使館	在支那公使館	在雲南領事館	在哈爾濱總領事館	在通化分館
在浦潮總領事館	在上海總領事館	在宜昌領事館	在奉天總領事館	在海龍分館
在亞港總領事館	在天津總領事館	在蕪湖領事館	在吉林總領事館	在張家口領事館
在ハバロフスク總領事館	在福州總領事館	在坊子出張所	在青島總領事館	在滿洲里領事館
在ハバロフスク總領事館	在漢口總領事館	在博山出張所	在青島總領事館	在百草溝分館
在ハバロフスク總領事館	在廣東總領事館	在張店出張所	在青島總領事館	在畢河出張所
在ハバロフスク總領事館	在成都總領事館	在上海商務參事官	在青島總領事館	在帽見山分館
在ハバロフスク總領事館	在芝罘領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在重慶領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在厦門領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在蘇州領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在杭州領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在沙市領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在長沙領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在南京領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在汕頭領事館		在青島總領事館	
在ハバロフスク總領事館	在九江領事館		在青島總領事館	

11

5

5

5

乙 號用紙 (國納)

文化事業部長 上下各一部 2/19	三教部 1/19	文書保記録 上下各一部 1/19	月 圖書 上下各一部 1/19	外務省 4.2.19 圖書部
-------------------------	-------------	------------------------	-----------------------	----------------------

0368

REEL No. A-0409



省 信 傳 長	文 書 課 長	會 計 課 長	人 事 課 長	次 官	大 臣	省 内
" 加 二 課 長	" 加 一 課 長	政 策 局 長	" 加 二 課 長	" 加 一 課 長	亞 細 局 長	

0373

乙 號 用 紙 (國 納)

高 工 省	宮 内 省 次 官	朝 鮮 總 督 府 外 務 課 長	朝 鮮 總 督 府 政 務 總 監	關 東 廳 外 務 課 長	關 東 廳 長 官	山 陽 總 督 府 長 官
" 一	" 二	" 一	" 一	" 一	" 一	上 下 各 一

0372

乙 號 用 紙 (國 納)

文書課 印刷課 図書 本部 宛											
外務省											
0375											

(乙) 號用紙 (圓納)

通商局長	〇カ一課長	〇カ二課長	〇カ三課長	〇カ四課長	〇カ五課長	〇カ六課長	〇カ七課長	〇カ八課長	〇カ九課長	〇カ十課長	〇カ十一課長
〇カ十二課長	〇カ十三課長	〇カ十四課長	〇カ十五課長	〇カ十六課長	〇カ十七課長	〇カ十八課長	〇カ十九課長	〇カ二十課長	〇カ二十一課長	〇カ二十二課長	〇カ二十三課長
文化事業部長	以上各上下本部宛										
外務省											
0374											

(乙) 號用紙 (圓納)

文書課長
公 信 案

文書課發送 昭和四年參月壹日 發送済

主 情報部長 第一課長 四年二月五日

報 機密第一八二號 大正昭和四年貳月廿七日 附

受 信 人名 別表公館表(各通) 發 信 人名 田中大臣

件 名 新聞調査報告(南洋各件)

本月拾九日附報一機密第一四八号ヲ以テ送付

シ先外國ニ於テハ新聞上卷ハ昭和三年末

現在ヲ基準トシ各公館ノ調査報告ヲ収

公 信 案

外 務 省

(乙) 號用紙 圓筒

録セルモノナル 処其後支那各地ニ於テハ新
 聞通信界ノ政情ノ變動ニ伴レ形勢相
 當變化セルヤハ察セラル 從テ前記調査
 ハ貴地新聞界最近ノ收勢ヲ知ル上ニ
 不便甚ク多キヲ以テ特ニ本年ハ出来得
 心限速ニ支那收ヲ特輯致度ニ
 本年度貴館報告(昭和三年末現在)未

0377

外 務 省

0376

26 98

乙 號用紙 (圓納)

接到ニツキ右車速由書相成度
大至急

此設申進ス

外務省

0378

REEL No. A-0409



アジア歴史資料センター

在外公館一覽表

(總數二四二)
(昭和四年一月現在)

大使館 九
公使館 一六
總領事館 三〇
領事館 五五
分館 一三
出張所 九
商務官 七
代表其他 三

◎在歐洲 (三三)		在里昂領事館	◎在南北米 (二九)	在バロンブレット分館	在シドニー總領事館
在英大使館	在安土府領事館	在米大使館	在巴奈馬領事館	在バタビヤ總領事館	在カルカッタ總領事館
在佛大使館	在馬耳他領事館	在墨公使館	在智利公使館	在孟買領事館	在孟買領事館
在獨大使館	在ストツクホルム領事館	在伯公使館	在亞公使館	在バウルー領事館	在ケープタウン領事館
在伊大使館	在未關領事館	在露公使館	在露公使館	在メキシコ總領事館	在河内總領事館
在白大使館	在リスボン出張所	在紐育總領事館	在紐育總領事館	在マントス出張所	在スラバヤ領事館
在蘭公使館	在里斯本出張所	在桑德總領事館	在桑德總領事館	在サンクトス出張所	在蘭貢領事館
在西公使館	在倫敦商務參事官	在紐約總領事館	在紐約總領事館	在マンサニヨ出張所	在西貢領事館
在瑞典公使館	國際聯盟事務局	在波羅總領事館	在波羅總領事館	在マンサニヨ出張所	在コロンボ領事館
在瑞西公使館	國際聯盟事務局附設事務所	在シヤトル領事館	在シヤトル領事館	在マンサニヨ出張所	在ベルシヤ出張所
在土大使館	在柏林商務書記官	在羅府領事館	在羅府領事館	在マンサニヨ出張所	在メダン領事館
在波蘭公使館	在君府商務書記官	在ホノルル總領事館	在ホノルル總領事館	在マンサニヨ出張所	
在羅馬尼公使館	在芬出張所	在カナダ公使館	在カナダ公使館	在マンサニヨ出張所	
在芬出張所	在希臘公使館	在オタワ領事館	在オタワ領事館	在マンサニヨ出張所	
在倫敦總領事館	在漢堡總領事館	在晚香坡領事館	在晚香坡領事館	在マンサニヨ出張所	
		在聖市總領事館	在聖市總領事館	在マンサニヨ出張所	
		在ベノスアイレス領事館	在ベノスアイレス領事館	在マンサニヨ出張所	

◎在露西亞 (一〇)		◎在南支那 (二六)	在雲南領事館	◎在北支那 (二五)	◎在通化分館
在露大使館	在支那公使館	在上海總領事館	在蕪湖領事館	在哈爾濱總領事館	在海龍分館
在滿洲總領事館	在天津總領事館	在福州總領事館	在坊子出張所	在青島總領事館	在龍江分館
在亞細亞總領事館	在漢口總領事館	在廣州總領事館	在博山出張所	在青島總領事館	在百草溝分館
在ハバロフスク總領事館	在武市領事館	在成都市領事館	在張店出張所	在青島總領事館	在黒河出張所
在ペトロパヴロフスク領事館	在オデッサ領事館	在長春領事館	在遼陽領事館	在長春領事館	
在オホハ分館	在オホハ分館	在赤峰領事館	在赤峰領事館	在赤峰領事館	
在モスコウ商務書記官	在モスコウ商務書記官	在新民府分館	在新民府分館	在新民府分館	
		在頭道溝分館	在頭道溝分館	在頭道溝分館	
		在豊安分館	在豊安分館	在豊安分館	
		在撫順分館	在撫順分館	在撫順分館	

0379

館事領總本日坡嘉新在

昭和三年十二月末現在

新聞紙ニ関スル調査

在新嘉坡

日本總領事館

0381

5.3.31

不
同

四
六
二
八
二
七
三

100.923

情報部 第一課

機密公第四四号

昭和四年二月二十八日

在新嘉坡

總領事 玉木勝次郎



外務大臣男爵田中義一殿

新聞紙ニ関スル調査提出ノ件

當館管内新聞紙ニ関スル別冊調査正副冊通送

差進スル付可致御取計相成度

昭和四年參月廿貳日接受

別紙添付

0380

館事領總本日坡嘉新在

モエノ刊用シ掲載ス発行部数
三千七百五十
主筆 Herbert Walden 一九〇五年ロト
ンガセット主筆トテ倫敦ヨリ退去
一九〇〇年在任ノ後一九〇二年任授
南ストレーツエコー社主筆トナリ一
ニ五年迄在任一九二七年三月以来
馬來聯邦州首有コーレンボリニ於
ケルマレー、マドールニ主筆タリニガ
本紙主筆 H. C. Macintosh Harris
本年三月十五日死セテ後ハ龍不ト
就任セリ。

0384

館事領總本日坡嘉新在

	朝外字	自由	會社組織	RR10 David

ストリートタイムズ社主筆ト有テ新
聞ニシテ論調穩健ナリ
本紙一九一五年年中所謂箱口令ト
唱ハレシ法律廢止ノ際之ヲ紀念
スル為フリー、プレス、ノ名ヲ下ニ登
ケルモノナリト云ヌ。一九一九年一
度発行、一八四年一頁刊、本紙ニ當物
通知ナリシガ、一九二七年七月十六日
降日刊ニ改メ現在ニ及ブ。
本紙、日本ニ特別通信員、加ナ
キヲ置キ其通信ハ同紙、Our
London Letter 又: Our Mail Letter
對シ Our Japan Letter 一ニテ時々

0385

6

館事領總本日坡嘉新在

See Malaya
Singapore
The Straits
Federated Malay
States
W. Arthur
Wilson

歸其也。後ヲ藝ハル者モシテ從來
同紙次席記者タリシモノナリ。

一九一四年創刊
発行部數四千五百一部賣五仙
本紙ハ支那人擁護ノ機關紙ニシテ
事支那人ノ利害ニ関スル限リ特ニ
政廳ノ政策ニ又對ス。

商業海運ニ関スル記事他紙ニ比
豊ニ富ク又運動記事ニモ言ハル。
支那人並事務員階級ノ間ニ多
數ノ讀者ヲ有ス

一九二六年以來香港ニ通信員ヲ遣

0387

5

館事領總本日坡嘉新在

掲載シ居ルハ通信内容概シテ
正確ナリ

購讀者中比較的數ノ混血
兒ヲ有ス。本邦大震災災ニ際シ
本紙亦ストレストリスタルニ同様種
々便宜ヲ計ル所アリタリ。

本紙重役支那人ハ P. Wong 在
留日本人間ニ親交アリ

発行部數二千五百一部賣五仙。

本紙并週刊 Weekly Mail ヲ発行ス。
発行部數約五百一部賣二十五仙。
現主筆 P. H. Wallace 前社長兼主
筆ナリ。P. H. Wallace 昨午六月隱退

0386



館事領總本日坡嘉新在

漢字	新報	總進		漢字	新報	新國民	日	
	新報	中立		漢字	新報	新國民	日	
	新報	合名会社		漢字	新報	新國民	日	
	新報	Long Hin		漢字	新報	新國民	日	
<p>本館は一九一九年、現在海峽殖民地立法會議員を以て新加坡市評議員を兼ねて、</p> <p>本館に入り、今日に至り、現在海峽殖民地立法會議員を以て新加坡市評議員を兼ねて、</p>	<p>創刊一九一九年、</p> <p>文部新聞中最多数の購読者を有し、現在発行部数五千十紙</p> <p>セラル、本館の政治、経済、実業、教育関係の報道記事は、富貴の一部者も拾仙。</p>	<p>創刊一九一九年、漢字新報中政党内閣を偏重し、最近公平に転じ、</p> <p>延着本報新國民日報より分紙せしむ</p>			<p>株主組織</p> <p>役員先率日</p> <p>報分社</p>	<p>張叔耐</p> <p>旧派文人</p> <p>國</p>		

0391

館事領總本日坡嘉新在

<p>執筆スレゴト二年、同紙歴刊後</p> <p>経営馬來字新聞「ホトマン」マニラニ</p> <p>年ニシテ退職、シンガポールフリープレス紙</p> <p>郵便局長ノ職ニ歴任スレニテ數</p> <p>員、シヨキル川ハク港務部七重</p> <p>フルス学院出身、新加坡港務部</p> <p>本館担着記者「アブダル、ユノスビン</p> <p>アブドラ」(ハセキキ生レ)ハ当地ヨリ</p> <p>スルオ内容貧弱ナリ、発行部數</p> <p>約千三百十紙ス、志部責負立仙、</p> <p>有ス、記事ニ主トシテ母報電報欄</p> <p>上ニ、英領北ボルネオ等ニ亘リ購読者</p>														

0390

館事領總本日坡嘉新在

南洋商報	漢字 夕刊							
會社組織	(資本金 五万弗)	持主 陳嘉庚						
林獨步								
發行部數約二千一部賣十仙								
創刊一九一三年八月。臨城問題に 今年十月以降休刊。一九四二年四月刊 持主陳嘉庚、新嘉坡有数、實 業家ナリ、主筆林獨歩、早稲田 大學政治経済科出身、この次席 記者張時相、東京南都大學出身 本紙、政治に容喙せず、専ら産業 通商、教育方面に於て支那人ノ 啓発誘導に極力努む								
發行部數約千五百								

Q393

館事領總本日坡嘉新在

叻報	漢字 夕刊							
會社組織	(資本金 五万弗)	持主 薛中華						
周君南								
發行部數約八百一部賣八仙								
光緒七年ノ創刊ニ係リ新嘉坡 最古ノ漢字日刊紙ナリ、林才組 織ト称スルモ新嘉坡市神祿員ニシ テ有数ノ實業家タル薛中華 個人ノ所有ナルカ如シ、主トシテ實業 方面に活躍スルヲ以テ實業者間ニ好 評アリシ、如シ、主筆周君南ハ元高 務總會書記長ニシテ北京大學出身、 公平ナル人物ト称セラルモ時ニ日本ヲ誣ニ ルカ如キ記事ヲ掲載ス								

Q392

館事領總本日坡嘉新在

南洋 新聞 邦字 夕刊	中立	組合組織	古藤 吉三 (社長兼主筆)	大正二年創刊、毎号四頁、発行部数一千 当地唯一の邦字日刊紙ニシテ支那ノ東 京ニ置ク
Penang Gazette and Frische Chronicle	自由	Penang Gazette Press Ltd. 会社組織	A.H. Lancaster	創刊一八三八年、発行部数三千五百、 一頁賣十五仙、政廳御用紙、色紙 半紙、特セリ也、彼南島ニ對シテ ロビンス等ニ比シ、在在歐洲人特高 地方駐在英國官吏間ニ請讀セリ 本紙ニ別ニ週刊(毎三百部)者有 行ス一頁賣五仙也。此外倫敦特 電ヲ速報ス等時ニカニテハ 西ノ新聞ヲ發行ス
Penang Gazette 邦字 夕刊	自由	Penang Gazette Press Ltd. 会社組織	W.H. Harper	一九三三年創刊、発行部数二千五百、一 頁賣十五仙、別ニ週刊ヲ出ス發行 部数百餘、一頁賣四仙

0395

館事領總本日坡嘉新在

南洋 新聞 邦字 夕刊	中立	組合組織	古藤 吉三 (社長兼主筆)	大正二年創刊、毎号四頁、発行部数一千 当地唯一の邦字日刊紙ニシテ支那ノ東 京ニ置ク
Penang Gazette and Frische Chronicle	自由	Penang Gazette Press Ltd. 会社組織	A.H. Lancaster	創刊一八三八年、発行部数三千五百、 一頁賣十五仙、政廳御用紙、色紙 半紙、特セリ也、彼南島ニ對シテ ロビンス等ニ比シ、在在歐洲人特高 地方駐在英國官吏間ニ請讀セリ 本紙ニ別ニ週刊(毎三百部)者有 行ス一頁賣五仙也。此外倫敦特 電ヲ速報ス等時ニカニテハ 西ノ新聞ヲ發行ス
Penang Gazette 邦字 夕刊	自由	Penang Gazette Press Ltd. 会社組織	W.H. Harper	一九三三年創刊、発行部数二千五百、一 頁賣十五仙、別ニ週刊ヲ出ス發行 部数百餘、一頁賣四仙

0394

館事領總本日坡嘉新在

南洋新報	漢字	夕刊	南洋新報	漢字	夕刊	南洋新報	漢字	夕刊	南洋新報	漢字	夕刊
壹派	閱	非	自由	McAlister	自由	McAlister	自由	McAlister	自由	McAlister	自由
持	才	組	持	Muller, Frank	才	Muller, Frank	組	Muller, Frank	才	Muller, Frank	組
沈	元	南	沈	F. S. Smith	元	F. S. Smith	南	F. S. Smith	元	F. S. Smith	南
發行部	數	六百餘	發行部	數	六百餘	發行部	數	六百餘	發行部	數	六百餘
一部	賣	十仙	一部	賣	十仙	一部	賣	十仙	一部	賣	十仙
<p>一九二四年十一月三日創刊、 紙數八頁、發行部數千五百、 一部賣十仙、 本紙持主ハ公証人、兼護士 トニ「マラン」ノ開業ス、 海峡殖民地ニ支那人ノ多數 ノ其讀者ヲ持シ、</p>											

0397

館事領總本日坡嘉新在

光華日報	漢字	夕刊	光華日報	漢字	夕刊	光華日報	漢字	夕刊	光華日報	漢字	夕刊
國	民	報	國	民	報	國	民	報	國	民	報
持	才	組	持	才	組	持	才	組	持	才	組
陳	宗	山	陳	宗	山	陳	宗	山	陳	宗	山
發行部	數	約六百	發行部	數	約六百	發行部	數	約六百	發行部	數	約六百
一部	賣	十仙	一部	賣	十仙	一部	賣	十仙	一部	賣	十仙
<p>前 全 湯 日 恒 發行部數約六百、一部賣十仙、 在留支那人間ニモ相當多數ノ讀 者ヲ有ス</p>											

0396

館事領總本日坡嘉新在

英字 月刊	自由 The Malayan Daily Express	会社組織 The Malayan Daily Express Ltd	Papinall Fernando	一九二七年二月創刊、紙数正頁 発行部数約二千、一頁賣十仙 本紙は自ら「極東」於て「East pro- British papers」と標榜し且つ英領 馬來に於ては英國人の企業通商 貿易上の後援者として仕居り 日本に對しては好感の有し居るも 一如ノ一昨年南洋丹後地方の震 災當時其論說欄に於て日本及 羅突氏に對し深甚なる同情を表し 本紙は毎号記事欄に「字裏 」ヲ挿入し居り
----------	------------------------------------	--	----------------------	--

0399

館事領總本日坡嘉新在

英字 月刊	馬來聯邦州、クオース、ランポー市 The Malayan Mail	会社組織 The Malayan Mail Press Co. Ltd	E.H. Hardy	一八九八年の創刊、馬來聯邦州内 最古最有名の日刊英字紙ナリ。 護謨及錫蘭條の記事は特色アリ。 從テ斯業者間之多數讀る者有シ 又州内諸官廳及官吏ノ大部分 ヲ讀者トシテ網羅ス、政廳御 用紙ナリト云ス。 発行部数約二千五百、一頁賣十 別ニ週刊ヲ發行ス 本紙は本邦大震災の際に停刊シテ其 金ヲ蓄積シて是年千兩ノ厚メテ復刊 日下人會に提供セリ、當時馬來半島 に於て新聞紙自ラ此等に出デハ本 社ノミナリキ
----------	---	---	------------	---

0398

館事領總本日坡嘉新在

昭和三年十二月末現在
新聞紙ニ関スル調査
在 新嘉坡
日本總領事館

0402

館事領總本日坡嘉新在

新聞 名	新嘉坡	主筆	備考
The Straits Times	主筆	主筆	一八四五年創刊、発行部数六千、一節要松
英字 夕刊	新嘉坡 主筆	主筆	領布区域—海峽殖民地、馬來半島、
	主筆	主筆	暹羅、比律賓群島、蘭領東印
	主筆	主筆	度諸島、濠洲、其他南洋一帶、
	主筆	主筆	不獨獨立ノ標榜シ当地方最有
	主筆	主筆	カ、新聞ニシテ白人、亞細亞人ノ間ニ
	主筆	主筆	多數ノ購讀者ヲ有ス
	主筆	主筆	記事豊富、報道正確且迅速
	主筆	主筆	ニシテ特ニ政務並海軍根據地關係
	主筆	主筆	ノ記事ニ富ム、
	主筆	主筆	近年海軍根據地工事ノ進捗ニ伴ヒ

0403

館事領總本日坡嘉新在

著シク増加シ來レル也。植民地ノ軍 事實負担問題ニ関シ他紙ニ幸 先シテ強硬ナル又討論ヲ高唱シ 殖民地ノ利益擁護ニ努カシ居 レル結果昨年來又政府的態度 濃厚トナレリ。 往年ノ本邦大震火災ニ際シテハ 淳厚ナル同情ヲ表シ各種義捐 事業ニ盡ス所アリタリ 本紙ハ別ニ週刊 <i>The Straits Budget</i> ノ刊行ヲテ二週間中母紙ニ掲載 セリタル重要記事ヲ再録發行 ス我外務省情報部宣傳官宣									

0404

館事領總本日坡嘉新在

毛之ヲ利用シ掲載ス發行部數 二千七百五十 主筆 <i>Nobert Walden</i> 一九〇五年 以ガセット主筆トシテ倫敦ヨリ來 一九〇〇年迄在職ノ後一九二一年在役 南ストレーツエコー紙主筆トナリ一 九二一年迄在職。一九二七年三月以來 馬來聯邦州首府 コリンゴトニ於 テハマリーメールニ主筆ヲタリシガ 本紙主筆 <i>A. C. Mentmore Lewis</i> 本年三月十五日死セテ後ヲ龍ハヒ 就任セリ。									

0405

館事領總本日坡嘉新在

										See Malaya Tribune	
										支那人擁護新聞	
										The Straits Observer Press Ltd.	
										W. Nathan Wilson	
											一五〇四年創刊 発行部数四千五百、一部賣五仙 本紙は支那人擁護の機関紙にして 事支那人の利害に關し限り特 政廳の政策に反對ス、 商業海運の困る記事他新聞に 豊富、又運動記事も豊富、 支那人並事務員階級の間に多 数、誘惑者あり 一九二六年以來香港の通信員運

館事領總本日坡嘉新在

											南洋方面の時事を <i>Review of Affairs</i> と して時々掲載ス 主筆 W. Nathan Wilson はシンガポ ールに出生し、ロンドン、アドン、 シンガポールのエンフィールド、デトロイト、テレ グラフ、ヨークシャー、インペリアル、テレグ ラフ、エント、スター、ロイヤル・ハーメル、エクス プ्रेस、シブ、記者生活の歴、一九 二二年一九三三年在香港、カラス、 イタリ、シンガポールの記者、一九三三年 一九三九年「おき改メ」の、プロ、記 者、一九三九年一九三九年「マヤ、トリ ング、シンガポールの、一九三三年、 西、

館事領總本日坡嘉新在

漢刊	漢字	新報	總匯	新國民	日報	漢刊	漢字
			中立	國民黨	機關報		
			合名会社	株才組織	役南先華日		
			Leong Hin Han	張叔研	旧派天人ニテ		
					歴歴ナク國		
					民黨員ナリ		

本報、入り今日及下現在海峡
殖民地之法會議議員ニシテ新嘉
坡市評議員ヲ兼ス。

創刊一九一九年。

是報新聞中、最多數ノ讀讀者
ヲ有シ、現在発行部數五千ナリ
也。本報、政治、經濟、實業、
教育關係ノ報、道義事、富貴
一節賣拾仙。

創刊一八九八年、漢字紙中政
政派ニ偏セ、最モ公平ト稱セリ。
是報新國民日報ヨリ分設セルモノ

0412

館事領總本日坡嘉新在

漢刊	漢字	叻報	Lat Pau
		中立	
		合社組織	(持主) 薛中華
		周君南	

シテ國民黨ニ屬シテ持ス。
発行部數約八百、一部賣八仙。

光緒七年ノ創刊ニ係リ、新嘉坡
最古ノ漢字日刊紙ナリ。在干組
織ト稱スルモ、新嘉坡市評議員ニ
シテ有數ノ實業家タル薛中華
個人ノ所有ナルナリ。主トシテ實業
方面ニ活躍スルヲ以テ實業者間ニ極
評アルモノナリ。主筆周君南ハ元商
務總會書記長ニシテ北京大學出身。
公平ナル人物ト稱セリ。モ時ニ日本ヲ誣ム
ルガ如キ記事ヲ掲載ス。

0413

館事領總本日坡嘉新在

Penang Gazette and Straits Chronicle	自由	會社組織	M. Lancaster	創刊一八三八年、發行部數三千五百、 一部賣十五仙、政廳御用紙、色紙、 アリト稱セラル、彼南島至新嘉坡、 ロビンソン、在往歐洲人特、同 地方駐在英國官、夫間、請讀セラル、 本紙、別、週刊(約五百部)有也、 行、一部賣五十仙。此外倫敦特 電ヲ速報スル、時、「サンデー」、 エディンボロヲ發行ス、 一九三二年創刊、發行部數二千五百、一 部賣十五仙、別、週刊ヲ出ス、發行 部數百餘、一部賣四十仙。
--------------------------------------	----	------	--------------	---

0416

館事領總本日坡嘉新在

Penang Gazette and Straits Chronicle	自由	會社組織	陳宗山	支那人經營、英字新聞ニシテ 次記、彼南新報、十候也、彼南支 那人、機關紙ナリ、馬來半島 在留支那人間ニモ相者多、數、讀 者ヲ有ス 發行部數約六百、一部賣十仙、 創刊一九二二年、發行部數千五百 一部賣十仙
--------------------------------------	----	------	-----	--

0417

館事領總本日坡嘉新在

益星報 <i>The Sun</i>	自由 <i>The Free Press</i>	檳榔嶼 <i>The Malay Standard</i>	馬來聯邦州 <i>F. M. S. Federation</i>
又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>
按開辦			
一九二〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			

0421

館事領總本日坡嘉新在

益星報 <i>The Sun</i>	自由 <i>The Free Press</i>	檳榔嶼 <i>The Malay Standard</i>	馬來聯邦州 <i>F. M. S. Federation</i>
又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>	又刊 <i>Malaya</i>
按開辦			
一九二〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			
一九三〇年創刊、支那人ノ経営ニシテ發行部數約千三百			

0420